

課題発見と課題解決のあり方を追究する

～BLUE SEED Labo での学びとデータ分析を用いて～

【一高生が目指す姿】

よりよく生きるため物事に気づき考え抜くことのできる一高生

課題発見力 + 課題解決力

1年次

集団読書
(課題発見のための素地造り)

ビブリオバトル
(課題解決のための素地造り)

2年次

専門家と協力した課題解決活動
(専門的視点からの助言によってより良い課題発見力を育成)

データ分析に基づく問題の掘り起こしと解決案の提示
(「情報」と連携しデータによってより良い課題解決力を育成)

BLUE SEED Labo とは？

第一高校の近所にあるデザイン企業・BRIDGE KUMAMOTOさんが過去に行った「アップサイクル活動(不要品に手を加えて付加価値を付け販売するなど、社会貢献を基本コンセプトとした一連の取り組み)」をベースに、身の回りにある課題発見とその解決につながる商品やシステムを考案するプロジェクト活動

BLUE SEED Laboの流れ

①キックオフ講演

②班別協議

③中間発表

④ブラッシュアップ

⑤代表者発表会
フィードバック

①キックオフ講演



BRIDGE KUMAMOTOさんによるこれまでの活動内容説明とBLUE SEED Laboのコンセプト共有。「課題発見力」「課題解決力」に必要な力を細分化したルーブリックに現状を入力。

②班別協議



進路希望が似通った生徒同士で班を組ませ、班ごとに課題その解決策を図るための商品・システムを考案。中間発表に向け、一般企業が新作を発表する際と同様に、プレスリリースを作成。

③中間発表



1学期末に、班ごとに考案した商品・システムを各クラス内で互いにプレゼン。プレゼン後には質疑応答の時間を設けた。活発なやりとりが行われ、2学期以降のより良い探究活動につながった。

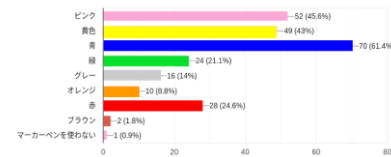
④ブラッシュアップ



③ 普段、特に使う色は？

普段、特に何色のペンを使いますか？ 2色選んでください。

114件の回答



中間発表で作成した資料を用いて、他班の生徒を相手に再度プレゼンをし、プレゼンを受けた生徒は「批判的思考態度」を持って感想や質問を行った。そこで得られた知見を、更なるブラッシュアップのために活用した。

「情報」授業内でデータの収集・処理・提示に関わる知識・技能を習得。アンケート調査の実施とその結果を発表に盛り込み、課題掘り起こしや商品・アイデアの改善を図った。

⑤代表者発表会・フィードバック



クラス内発表で代表者を選出し、学年発表会で計9班がプレゼンを行った。プレゼン(5分)と質疑応答(3分)の後、オンライン投票にて学年優勝班を決定した。

BRIDGE KUMAMOTOさんから代表9班すべてに対してフィードバックをして頂いた。アイデアという一見漠然としたものでも、観点を定めることできちんと数値化して評価できることと、優れたアイデアを沢山生むための方法やヒントなどを頂いた。

<7つの観点>	社会的インパクト
実用性	デザイン性
話題性	独自性
将来性	プレゼン力

【成果と課題】

今回の探究活動を通じ、身の回りの何気ないことに課題を見いだすアンテナの感度が高まったこと、見慣れた風景でも批判的に捉え直す思考態度が身についた。また、BRIDGE KUMAMOTOさんの講演やフィードバックの中で頂いた数々の助言や、「情報」で学んだデータ活用の知識や技術により、課題解決のための多角的なアプローチの視点が得られた。課題発見や解決のためのアイデアを出すには、様々な分野に関する知識を広く深く知っていることが必要なので、その獲得が今後の課題である。